



であいさつ



女性医師の会監事 飯島尋子

医療界にも働き方改革の波が押し寄せています。昨年は 医学部入試における女性と多 浪生への冷遇問題が報道され ました。その根底にはわが国 の社会制度や国民の考え方な どの問題も大きいと思います

が、CMソングにもある、私たち昭和終盤時代の 「♪24時間戦えますか?」の答えを良しとする風 潮があったように感じます。色々対策をしてもに わかに意識が変わることはありませんが、医療現 場の業務量は増加しタスクシフトが実現しなけれ ば改革は困難と感じております。女性の国家試験 合格者が3割を超えた平成12年(2000年)から現 在は4割に近づき20年後私たちの老後の医療を担 う半数は女性医師となっていると思います。県医 師会では平成18年(2006年)に男女共同参画推進 委員会を立ち上げ県内各病院の現状把握や講演会 の開催を通じ意識改革や啓蒙活動を行い男女とも キャリア支援をして参りました。今後は高齢化時 代も踏まえ全医師会員の多様性を尊重し勤務環境 の改善を目指す必要があると思います。是非皆様 のご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境でなくてはなりません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上

FAX (078-231-8111) またはメール (w-entry@hyogo.med.or.jp) でご送信下さい。

★女性医師の会の年会費は無料になりました★

イクボス大賞

兵庫県医師会では、男女とも仕事と生活の両立を達成できるよう、部下のワークライフバランスとキャリ



アの継続に配慮し、良好な職場環境の構築に貢献している上司、管理職をイクボスと呼び、今年度よりイクボス大賞を創設して表彰しました。只今第2回イクボス大賞の募集をしています。臨床研修病院の先生で「この先生こそイクボス!」と思われる方を是非推薦して下さい。応募期限は4月5日(金)、表彰は7月20日(土)開催のフォーラムで行われます。

病児保育について

働く親にとって子どもの急な発病ほど困ることはありません。その際の選択肢として行政から委託を受けた病児保育があります。入会金は不要で、施設によって異なりますが概ね8:00から18:00まで2,000円の費用で保育士・看護師により保育と看護をしてもらえます。利用を希望される施設を事前に見学し、必要書類を入手されてた方が、保育を依頼するときの時間短縮になります。また、前日にかかりつけ医の診察を受け、医師連絡票を作成して頂くことが望ましいです。詳細は兵庫県ホームページ内の県内の病児・病後児保育施設一覧(平成30年4月更新)や各市のホームページを参照下さい。

講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂けます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が充分に研修を継続できるよう、ご協力宜しくお願い致します。

女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務 環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会 の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情 報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は 厳守させて頂きます。ホームページに案内と申込 用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さ い。

●相談受付

電 話:078-231-4114月曜日と火曜日

午前9:00~12:00

FAX:078-231-8111 随時受付

E-mail: josei-ishi@hyogo.med.or.jp 随時受付

面 談:要予約

離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職を考えている がその前に再研修されたい方は、研修終了後は県 内の医療機関に勤務して頂くことを条件に、80時 間の病院研修を無料で受けて頂けます。

ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッター を利用された際は、その費用を一部負担致します。 条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問し、 情報提供と研修医・勤務医の現状把握・意見の収 集に努めています。現在すでに16病院を訪問させて頂きました。今までの訪問で沢山のご意見・ご要望を頂き、大変参考になっています。今後もご協力をお願い致します。

第12回兵庫県女性医師の会研修会

平成31年2月16日兵庫県医師会館にて第12回兵庫県女性医師の会研修会を開催致しました。「高齢化社会を迎えての医療、女性医師のあり方」の演題で藤田医科大学ばんたね病院脳神経外科教授脳血管・ストロークセンターセンター長 加藤庸子先生にご講演頂きました。

昨今医師の働き方改革が推進され、労働時間の 短縮が求められているが、その手段としてタスクシフティングが挙げられる。その候補としてナース・プラクティショナー(縫合や呼吸器管理などのできる看護師)やクラークがある。しか元分なるまり若い医師が充分なることも危惧しており、なな生の割合が増加しており、女性医師の割合が増加しており、女性医師の間境整備が重要であるととまれる。 離職を防ぐための環境整備が重要であるといる。 能職を防ぐための環境整備が重要であるといるには女性と同様に出産・育児の問題に向き合う決意が必要である。そして、未曽有の高齢社会を迎える日本において、高齢者の健康寿命を延伸し、高齢者が社会から支えられる人ではなく社会を支える人になることを望む。

詳しくは県医師会報に掲載致しますのでご一読 下さい。 (文責 相馬葉子)

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

大江与喜子 大石麻利子 飯島 尋子 宮本由紀子 相馬 葉子 木村 智子 若栄 徳彦 中村 陽子 横田 光 林﨑 緑 大内佐智子 小林 成美 上月 清司 奥窪 明子 後藤 倫子 岡本 泰子

担当役員

松本 卓 橋本 彰則 難波 光義 宮地 千尋 小野 一広 平林 弘久

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111